

平成30年度 第3回府中市環境審議会会議録(要旨)

平成30年11月27日(火)

午後6時から午後8時まで

府中駅北第2庁舎3階第一会議室

- 1 出席委員 伊東準一委員、相馬佳子委員、吉武考三郎委員、石谷真喜子委員、増山弘子委員、宮地賢委員、表伸一郎委員、小西信生委員、榎本弘行委員、金子弥生委員、玉山真一委員(副会長)、室英治委員(会長)(12名)
- 2 欠席委員 可兒晴樹委員、堀江昭夫委員、宮川力委員
- 3 事務局 古森生活環境部長、石川生活環境部次長、前島環境政策課長、浦川環境政策課長補佐兼環境保全活動センター担当副主幹、河野環境改善係長、環境改善係越智事務職員
- 4 傍聴者 5名
- 5 議事
 - (1) 開会
 - (2) 報告
府中市におけるスマートエネルギー都市の実現に向けた施策の提案について
 - (3) 議題
ア 第2次府中市環境基本計画(環境行動指針)の進捗状況について
イ 府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について
 - (4) 閉会
- 6 資料
 - 資料1 府中市におけるスマートエネルギー都市の実現に向けた施策の提案について
 - 資料2 府中市における「スマートエネルギー都市」の実現に向けた施策の提案について(答申案)
 - 資料3 第2次府中市環境基本計画環境行動指針の進捗状況
 - 資料4 多摩地域ごみ実態調査H29年度統計(抜粋)
 - 資料5 第2次府中市環境基本計画及び府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について(答申案)

【事務局】

定刻になったので、平成30年度第3回府中市環境審議会を開催します。本日は議題まで、事務局が進行します。

本会議については、「府中市環境審議会規則」第5条第2項の規定により、定足数が過半数に達することで成立することとなっていますが、本日の会議は出席委員数が過半数に達していることから、有効に成立することを報告します。

次に、傍聴について、委員の皆さまにお諮りしますが、府中市情報公開条例に基づき、原則公開となっております。

傍聴人は、いますか。

【事務局】

本日の傍聴人は、5名です。

【事務局】

入室を許可してよろしいでしょうか。

【委員全員】

異議なし

【事務局】

それでは、お手元の次第に従いまして、会議を進めてまいります。

次第の「2 報告」についてでございます。

府中市におけるスマートエネルギー都市の実現に向けた施策の提案について、私から説明をさせていただきます。

それでは、「府中市におけるスマートエネルギー都市の実現に向けた施策の提案について」ですが、前回の審議会において、全体の内容については、委員の皆さまから了承をいただいているところです。表現方法等で何かご指摘をいただいた箇所がございますので、念のため修正した箇所のご説明だけさせていただきます。

2ページをご覧ください。中段の(2) 二酸化炭素排出量の構成になりますが、同セクションの後に「出典」というかたちで「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量算定結果と記載しておりましたが、このセクションのどこまでが、出典されているか不明だというご指摘をいただきましたので、ページ下部に、具体的な文面である「府中市の平成27年度二酸化炭素排出量1,024千トン-CO₂」という内容が、オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」温室効果ガス排出量(推計)算定結果から引用と記載しました。

次に4ページをご覧ください。(2) 公共施設(文化センター等)におけるLED化にて、5～6行目ですが、前回LEDに変えることにより電気料金の低減化が進み費用対効果があると記載しておりましたが、委員のご指摘から電気料金だけでなく、照明設備の維持管理費等を含めて、費用対効果があるとする方が正しいのではないかといただきましたので、そのように変更しております。

次に6ページをご覧ください。(1) 府中市エコハウス設備設置補助金の拡充についてですが、こちらも同セクションの後に「出典：府中市の環境と入れていましたが、どの部分が出典されているか不明だということで、ページ下部において、開始年度から平成2

9年度までの交付対象設備による累積二酸化炭素削減量は、3,026,778kg-CO₂/年が、府中市の環境から出典している旨を記載いたしました。

最後に8ページをご覧ください。(1)水素社会実現に向けての課題から記載のありません「水素ステーション」ですが、施設の説明と同施設が普及していない旨を備考に記載した方がよいといただきましたので、ページ下部に説明等を記載しました。内容といたしまして、主に燃料電池自動車へ高純度水素を供給する施設のことをいう。また、同施設は都内で23区に13箇所、26市町村においては八王子市に1か所のみの設置数であり、普及していない状況にあるとしました。

説明は以上となります。

何か、ご意見やご質問がありましたら、お願いします。

【委員】

目次で5「水素エネルギー都市の実現」となっていて、8ページには「5 水素エネルギー都市の実現に向けて」となっていて、表現を統一した方がいいのではないかと。

【事務局】

そうですね。表現方法については統一します。

他にご意見ある方はいらっしゃいますか。

いらっしゃらないようですので、結果の報告は以上となりまして、続きまして議題に移ります。ここから先の進行につきましては、室会長、よろしく願いいたします。

【会長】

続きまして、次第の「2 議題」に移ります。「議題(1)第2次府中市環境基本計画(環境行動指針)の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

お配りしました資料3をご覧ください。第2次府中市環境基本計画環境行動指針の進捗状況についてご説明いたします。前回での審議をいただきました際のご質問やご指摘を受けまして、いくつか変更を加えております。

1点目にプロジェクト番号22番についてですが、前回の審議会に置きまして府中市が多摩地域26市の中で、1人1日あたりのごみ量が最も少ないと報告させていただきましたが、他市の状況についてご質問がありましたのでお答えします。

お配りしております資料5「多摩地域ごみ実態調査(平成29年度統計)」をご覧ください。この資料の2ページの表面「表1のごみ量」をご覧ください。この表の収集量(g/人日)の小計をご覧ください。府中市は上段から数えて6番目に記載されておりますが、数値は「522.1グラム」となり、一番下にあります最小値と同じであることがわかるかと思えます。

府中市の総ごみ量はこの表では「604.3グラム」となっており、進捗管理表の「608グラム」と異なりますが、こちらは分母となる市民の数が4月時点のものを使用するか、10月時点のものを使用するかで異なっております。進捗管理表記載の「608グラム」は4月の人口を使用して算出した数値となります。

他市の状況については、資料でご確認ください。

資料3にお戻りいただきまして、2点目にプロジェクト番号26番についてですが、

水辺の楽校の参加者数が減少していることに伴い、必ずしも参加者の減少が悪いという事ではないという委員の方々のご意見もいただいたところです。ただし、説明を備考に入れて、新たな指標として「開催回数」を導入してはどうかとのご意見もございました。

これらのご意見を踏まえまして、既存の参加者数は今までの進捗をはかってきた指標として、連続性を保つために残しつつ、H29年度から新たに「開催回数」を指標として導入し、備考欄に参加者数減少の理由を記入いたしました。

修正しました、備考欄を読み上げます。「小学生の親子に身近な多摩川において、自然に触れ合う機会を提供している。また小学校の総合学習の時間の支援をしているが、支援していた小学校が減り、参加者が減少している。原因としては、自主的な環境学習の授業が行われはじめたことがあるが、それぞれの地域により身近な環境学習が行われ、より発展的な内容となっており、水辺の楽校の参加人数の減少は環境教育の後退を示すものとは言えない。」

このような内容に変更いたしました。

3点目に、プロジェクト番号30番についてですが、平成30年度より「田の草取り」等をなくしたことから、田んぼの学校の開催回数が減少する見込みですが、これについても参加人数等が減少しておらず、活動が縮小されたわけではないため、平成30年度の進捗状況をはかるうえで、参加者数を指標に追加する予定です。

前回このようなご意見をいただき、これに基づきまして資料5の答申案を作成いたしましたので、一読させていただきます。

*** 答申案の読み上げ ***

内容といたしまして、水辺の楽校に係る指針などについてでもございましたが、目標の達成が市の施策の取組みに係る評価や市民の満足度等と連動していないか、あらためて確認していく必要があることを記載しております。また、目標に対する進捗状況につきましても、今まで培ってきた進捗内容及び目標値を変更するという方法だけではなく、実態に即した指標を併記することにより、社会情勢の変化などに対応していくことを要望する旨の内容としております。

当答申案についての、説明は以上となります。

ご審議等、よろしく願いいたします。

【委員】

年度の表記についてだが、和暦と西暦を併記した方が良いのではないか。特に平成31年度以降については実際には存在しないであろうことが考えられるため。

【事務局】

併記するように対応します。

【委員】

人口の増減について、先ほど終わった「府中市におけるスマートエネルギー都市の実現に向けた施策の提案について」の2ページ「府中の現状」の「(2) 二酸化炭素排出量の構成」の最終部分で「平成2年度と比較すると、家庭部門では約53.3%、業務部門

は約80.1%増加しています。」と記載がある。平成2年度というとは25年前となるが、25年前と比較してこれくらい二酸化炭素排出量増えていますよという記述だが、人口も25年間でかなり増えていることが想像できる。人口がはっきりと記述されていないと、人口の増加と比例してどのくらい二酸化炭素排出量が増加しているかわからないため、二酸化炭素排出量の増加をどのように評価をすればいいかわからない。

つまり、人口が平成2年度から平成27年度にかけてどのくらい増加したか記述した方が良く考える。

【事務局】

そういたしますと、文章中というよりは、ページ下部の説明の中で注釈として平成2年度と平成27年度の人口を記載します。

【委員】

委員の意見について基本的に賛成なんですけど、できれば人口と世帯数を両方記載するのが望ましい。以前調べたことがあるが、人口はそれほど増えていないものの、世帯数は人口よりも増加している。二酸化炭素の排出量は世帯数の増加と関連性があるのではないかと考えている。

【委員】

業務部門について、企業数というのは把握できるか。

【会長】

事業者数とかになると、データの分析や解析は複雑になる。なので、委員2名から提案のあった人口と世帯数だけでいいと思うがどうでしょう。事務局はいかがですか。

【事務局】

人口と世帯数であればデータがありますので記載は可能です。

【委員】

「府中市におけるスマートエネルギー都市の実現に向けた施策の提案について」の2ページのなかの「家庭並びに業務部門からの二酸化炭素排出量がそれぞれ全体の約30%を占めており」の部分について、これは平成2年度のことじゃなくて平成27年度のことか。

【事務局】

こちらは平成27年度についてです。

【会長】

他に質問はありますか。

それでは、無いようですので、「議題(1)第2次府中市環境基本計画(環境行動指針)の進捗状況についてについて」は、答申案から「案」を削除したうえで、私と副会長から市長に提出することとしますがいかがでしょうか。

【委員全員】

異議なし。

【会長】

続きまして、「議題(2)府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、府中市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況に係る答申案をご説明します。資料5をご覧ください。一読させていただきます。

*** 答申案の読み上げ ***

今回の答申案ですが、府中市地球温暖化対策地域推進計画を平成29年1月に見直しを行い、コンサル業者等を入れずにモニタリングメニューの実施及び、その結果等について記載する、はじめての答申となります。

このことから、答申案の前段に、あらためて中間見直しした内容を取入れ、このことについて全庁あげて推進していく必要性を記載しました。

次に「モニタリングメニュー」を活用することは、重点プロジェクトの指標となることから、有効に活用すべきと記載しております。その中で、前回の審議会でお話しさせていただきました、アンケート内容が平成28年度と平成29年度に相違があることから、正確に進捗状況を把握できない部分があること、社会情勢を踏まえたうえで、そのアンケート内容を適宜変更していくことは考えられるが、原則、同一の手法同一の内容で実施することにより適正に進行管理が行われるべきことを記載しました。

最後といたしまして、本計画における重点プロジェクト等の進捗状況がスマートエネルギー都市にかかる施策と整合性を図りながら推進していくことを答申案といたしました。

なお、今回の平成29年度のアンケート内容については、進捗状況の参考値として公表できればと考えております。

説明は以上となりますので、ご審議よろしく願いいたします。

【会長】

ありがとうございました。事務局から府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について説明がありました。

何か、ご意見やご質問がありましたら、お願いします。

【委員】

質問だが、モニタリングメニューについて28年度と29年度で項目が違っているとの話だが、これは28年度に29年度を加えた項目にするのか。

【事務局】

平成29年度だけ設問内容が変わってしまっていますので、平成30年度につきましては平成28年度の設問に戻しまして進捗管理を行っていくことを考えています。

【委員】

29年度の設問内容は反映させないのか。

【事務局】

平成29年度の内容については参考値として公表しますが、進捗管理の指標としてはモニタリングメニューの内容と設問内容が異なる部分がありますので使用しません。

【委員】

新しい項目が必要であればまた設問を設定してもいいと思う。無理やり29年度を削るのではなく、良い視点が入っているのであれば加えてもいいと考える。

【事務局】

具体的に、1番目、2番目のモニタリングメニューについて、設問の内容に様々なモニタリングメニューの指標を盛り込んで記載されているものがあり、設問は平成28年度の内容に戻るのが良いと考えています。また、新たなモニタリングメニューを設定する必要が出てきたときには、新たな指標として加えていくべきだと考えています。また、34年度新たに、計画期間満了の前にもいろいろな指標について検討を図っていきたいと考えています。

【委員】

このモニタリングメニューについて個々のコメントを入れる予定はあるか。例えば廃棄物の削減プロジェクトで1人1日当たりのごみ量が4月時点の人口で計算するか10月時点で計算するかで数字が異なる事等について説明ができる。

【事務局】

先ほどもご説明しましたが、1人1日当たりのごみ量についてモニタリングメニュー上と資料4多摩地域ごみ実態調査での数字は、いつの時点の人口を基準とするかで異なった数字になっています。

【委員】

その説明でいいと思うが、その内容をコメントとして書いておいたらいいのではないかという事です。

【事務局】

わかりました。

【会長】

何か、他にご意見やご質問がありましたら、お願いします。

それでは、無いようですので、「議題（2）府中市地球温暖化対策地域推進計画中間見直し後の進捗状況について」は、答申案から「案」を削除したうえで、私と副会長から市長に提出することとします。

【事務局】

室会長ありがとうございました。

委員の皆様の任期は本年4月までとなりますが、任期内の審議会は本日が最後となります。最後に生活環境部長の古森からご挨拶申し上げます。

*** 部長挨拶 ***

【会長】

ありがとうございました。

それでは、本日の審議会を終了いたします。

2年間にわたるご審議、お疲れ様でした。ありがとうございました。

終了